

<進路選択と高校受験について>

前号で第1回進路希望調査の集計結果を紹介しましたが、今年の3年生は現時点で90%以上の生徒が高等学校への進学を希望しています。そこで、本号から数号に分けて進路を考えたり、決定したりする際のポイントや高校入試の制度についてなど、みなさんが知っておかなければならないことを紹介していきます。今後、発行される進路だよりをよく読んでほしいと思います。

1. 「進路を考えると、これからの自分の生き方を考えること」である。

進路とは、生き方のことです。ですから進路を決めるというのは、単にどこの高校を受験するかを決めることだけではなく、将来の生き方の目標を達成するための道筋としての卒業後の行き先を決めていくことなのです。そのために今、自分自身をしっかりと見つめて自分の特性（性格や長所・短所）を理解し、これからの生活を送る上で自分のどこを伸ばし、どこを改善していかなければならないかを考え、そのための行動を起こすことが大切なのです。



2. 「何の目的で、その進路先を選ぶのか」

これから先、みなさんの間で「〇ランクなら△△高校に入れる。」とか「□□点くらいとれれば××高校に入れる。」という話題がよく聞かれることになるとと思います。進学への意識が高まるほど「自分の成績ならどの高校に入れるか」、「今の成績で〇〇高校には入れるか」というような[学力]と[合格の可能性]を結びつけた疑問がわいてくるのは、ごく自然なことだと思います。しかし、学力や成績のことは進路選択にとって大切な要素であることは間違いありませんが、進路を学力と短絡的に結びつけ「入れる／入れない」ということだけで考えてはいけません。その前に「何をしたいから／どうなりたいからその高校を考えているのか」や「そこに入って何をどう頑張りたいと思っているのか」がはっきりしていなければならないのです。実際にすでに中学校を卒業して高校に進学した先輩たちからも「入れる学校」を選択するのではなく、自分の目的のために「入りたい学校」や「入ってやりたいことがある学校」を選びなさいという声が聞こえてきます。また、「点数だけで学校を決めると続かない。」とも言っています。

高校を中途退学した理由は「進路変更」が最も多く、次いで「学校生活・学業不適應」だそうです。やむを得ない事情や、よりよい道に変えていくための退学もあると思いますが、結局のところは「続かなかった」という場合がほとんどで、あいまいな目的や適性を考えない選択では、つらくなったり変えたくなくなったりしてしまう場合が多いということを物語っています。進んだ先で充実した生活を過ごすためにも、その先の人生の目標を達成するためにも、今ここでどれだけ目的をもった選択ができるかが大切なのです。(次号に続く)

→裏に「学校説明会等の案内」を載せています。

<学校説明会等のご案内>

■小樽双葉高等学校 オープンスクール ※学級に1枚、チラシを配付

期日 第1回：5月17日(土)、第2回：6月21日(土)

時間 9:00～12:00

内容 交流会、ドリプロ体験、部活動体験等

場所 小樽市住ノ江1丁目3番17号

Tel: (0134) 32-1828

参加申し込み→小樽双葉高等学校のHPから各自、申し込む。

■旭川工業高等専門学校 オンライン説明会 ※学級に1枚、チラシを配付

期日 5月24日(土)

時間 14:00～16:00

内容 学校の雰囲気、授業の様子、時間割、部活動、進路などについて生徒が説明する

場所 旭川市春光台2条2丁目1番6号

Tel: (0166) 55-8121 (学生課教務係)

参加申し込み→旭川工業高等専門学校のHPから各自、申し込む。

■星槎国際高等学校 本部長 オープンスクール

期日 5月24日(土)

時間 午前の部 受付 9:15～、学校説明 9:30～

午後の部 受付 13:15～、学校説明 13:30～

内容 学校説明、体験授業、個別相談等

場所 札幌市厚別区もみじ台北5丁目12-1

Tel: (011) 899-3830

参加申し込み→星槎国際高等学校のHPから各自、申し込む。